

所外研修⑩-1 第65回九州地区理科教育研究大会（沖縄大会）に参加

所外研修として、11月20日（金）に沖縄コンベンションセンターで開催された第65回九州地区理科教育研究大会（沖縄大会）・第37回沖縄県理科教育研究大会（中頭大会）に参加しました。

第2期教育振興基本計画の審議経過報告を受け、国立教育政策研究所は「社会の変改に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原則（平成25年3月）において「21世紀型能力」を提案し、「世の中について何を知っているか」から「世の中に対して何が出来るか」へと教育の在り方の転換が求められていると示しています。この現状を踏まえ、大会主題「実社会において主体的に探求する資質・能力を育てる理科教育」の基調提案があり、その後全体会における、研究発表、記念講演がありました。

午後からは、小中学校それぞれの部会にわかれ、工夫された教材教具を活用して、「学ぶ意欲」「理科の有用性」「探求する力」をキーワードに展開された公開授業は、これからの理科教育の在り方を示唆するものでした。

九州各県からいらした先生方と一緒に学ぶことができ、教育研究員の皆さんにとっては、貴重な機会であり、充実した所外研修となりました。

【大会の概要】

- 1 開会行事
- 2 基調提案
- 3 研究発表
 - (1) 「地域に愛着をもち、夢を育む小中一貫理科教育」
長崎市立野母崎小学校 教諭 宮上和夫
 - (2) 「授業に活かす地質巡検の在り方」
志免町立志免東中学校 教諭 宮野祐司
 - (3) 「科学的な思考力を育成する生体防御の指導の工夫」
沖縄県立宜野座高等学校 教諭 島袋陽
- 4 記念講演
演題：「沖縄の自然と人々の関わり」
講師：盛口満 教授（沖縄大学 人文学科 こども文化学科）
- 5 公開授業・授業研究会
- 6 研究発表



写真1 会場にて

教育研究員の感想（研修日誌から）

理科の研究大会というものに初めて参加しました。基調提案、研究発表ではプレゼンを行っていたのですが、わかりやすく伝えるということの大切さを知りました。基調提案のプレゼンはとても凝っていましたが、高校の理科の発表では、教具を工夫して顕微鏡で見えたものをスマートフォンで写真に撮ることができていたのはいいアイデアだと思います。また、名前だけは知っていたのですが盛口教授の講演会では、沖縄の自然と生き物について沖縄人の僕も勉強になりました。

午後の授業では、3～6年生までの授業を少しずつ参観しました。3年生では、研究テーマとの整合性もあつたのですが、内容的に課題を解決できた子が少なく、教師が最後はまとめていたので、課題自体をもっと簡単にした方がいいのではと、思いました。また、4年生では、「泡の正体を調べる」という活動だったのですが、それがどう実生活に結びつくかがみえなかったのが最後に少しでも泡を利用した身の回りの物を例示しても良かったのではないかと思います。テーマと授業の結びつきはやはり大切です。（久高友弥）

九州理科教育研究大会では、始めに小・中・高の先生方が基調提案のプレゼンがあり、その中で私が印象に残ったのが「世の中について何を知っているかから世の中に対して何が出来るかへと教育の在り方を転換することを目指している」という言葉です。この言葉は、以前に上原所長からいただいたご講話の中にもでてきた「21世紀型能力」につながりました。

授業研究では、4年生の「水のすがたと温度」の単元を西原東小学校の鶴町教諭の授業を参観させていただきました。熱した水から出てくる泡の正体は何か？を一人一人がしっかり予想を立てて実験に臨んでいました。鶴町教諭は、予想を立てるポイントとして、「今までの理科での学習を思い出す」ことや「自分の生活体験をもとに考える」ことを全体で確認していたこともあり、ほとんどの児童が予想を立てることができていました。児童の予想は、「水」「空気」の2つの意見に分かれ、実験後も同じ意見のままでした。指導助言をしてくださった十時啓介氏は、「理科の学習とは、児童の既に持っている自然についての素朴な見方や考え方を観察実験などの問題解決の活動を通して少しずつ科学的なものへと変容させていくことが大切である」とおっしゃっていました。これまで、あまり理科の授業参観する機会がなかったので貴重な経験になりました。また、プレゼンの仕方についても学ぶことができました。（富名腰由紀）

理科研究大会九州大会では、私が検証授業で扱う単元「光の世界」での公開授業ですごく参考になりました。既習事項を黒板に貼りだし、思考の場面で活用し、プレゼンテーションソフトを演習実験で確認する場面で活用していました。授業を組み立てる上で、授業内容を中心に考えていたので板書や内容の伝え方もしっかり練った授業展開を考えていきたいと思えます。

プレゼンの仕方も参考になりました。伝えたいことを図や表にして分かりやすい言葉でストーリーがあるプレゼンだったので所内検討会に向けてプレゼンを作っていきたいです。（波照間生子）